

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 22 日 作成

事務事業名		農業委員会運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	課長名 立山 和文
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	担当者名 富加美尚悟
	基本事業	18	農業振興地域の形成			所属班	(内線) 1182
予算科目		会計 1	款 6	項 1	目 1	事業連番 10179	法令根拠 農地法
							成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 26 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	定例会(毎月)開催し、農地法に定めた議案を審議する。 S26年に農地法が施行され、本委員会が発足した。 農地の宅地化、品目横断的経営安定対策により、農業をとりまく環境は、変化している。
【業務の流れ】	借り手からの相談、権利関係の確認、申請書の受付、議案書作成・配付、農業委員会の開催、議事録作成、意見書の作成、県への進達
【主な予算費目】	委員報酬・給料・職員手当等・共済費・旅費・交際費・需用費・役務費・負担金補助金及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	なし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 半段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
定例会(毎月)を開催し、議案を審議	定例会(毎月)を開催し、議案を審議
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 総会開催数	回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
農地	⇒ ア 農地面積 m ² イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
優良農地を確保でき、計画的な土地利用の推進が図れる。	⇒ ア 実施件数/許可件数(3条) % イ 実施件数/許可件数(4・5条) %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
毎月の総会で申請された案件を適正に審議することにより優良農地が確保できる。 許可された案件が適確に実施されることにより、計画的な土地利用の推進が図れるため。	

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	
④ 活動指標	ア	回	12	12	13	13	12	12	13	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	m ²	23,100,000	22995400	22895400	22740000	22700000	22660000	22620000	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	2,292	2,333	2,267	2,357	2,357	2,357	2,357
		地方債	千円							
		その他	千円	75	65	40	80	40	40	40
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		6,035	7,629	7,076	7,625	7,625	7,625
	(A) 事業費計		千円	2,367	8,433	9,936	9,513	10,022	10,022	10,022
	(A)のうち指定経費		千円							
	(A)のうち時間外、特勤		千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	4,922	4,848	4,848	4,824	4,824	4,824	4,824
		(B)人件費計	千円	19,540	19,392	19,295	19,200	19,200	19,200	19,200
トータルコスト(A)+(B)		千円	21,907	27,825	29,231	28,713	29,222	29,222	29,222	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

谷志市

事務事業名	農業委員会運営事業	所属部		所属課	農業委員会
-------	-----------	-----	--	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】	農業委員会を毎月開催し、適正に審議し、承認の上、許可された。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】	農業委員が平成21年2月27日に改選され、農業委員会を毎月開催し、議案について、適正に審議する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】	農業委員会に関する法律より実施する事業であり、向上の余地は無い。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ☐ 統廃合・連携ができる ☒ 統廃合・連携ができない	(具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 ⇒【理由】	農業委員会に関する法律に基づくものであるため類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】	委員の報酬が、主なものであり、委員会の活動には、必要である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】	農業委員会に関する法律に基づくものであり、削減の余地は無く、個人情報も含まれるので外部委託はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】	市全体の土地利用には不可欠で公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】	業委員会に関する法律に基づくものであるため他に移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

農業委員会を毎月開催し、議案について、適正に審議した。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止
☐ 休止
☐ 目的再設定
☐ 事業統廃合・連携
☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善)
☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
なし